

Hondaは、モビリティのリーディングカンパニーを目指す企業として、「環境」と「安全」を最重要課題と考え、さまざまな活動に取り組んでいます。環境への取り組みとしては、自ら高い目標を掲げ、排出ガスのクリーン化に効果的な電子制御燃料噴射システムを、小排気量から大排気量車に至る製品への適用を拡大しています。また、安全への取り組みとしては、より効果的なブレーキ操作を支援する「前・後輪連動ブレーキ」やABS等の先進ブレーキシステムを、それぞれの車種や地域の特性にあわせ、仕様の設定を拡大しています。また、量産二輪車用として世界で初めて開発に成功したエアバッグは、北米、欧州、日本においてゴールドウイングに搭載し販売しています。

このような環境と安全の取り組みとともに、二輪車の技術開発で力を入れているのが「操る楽しさ」いわゆる「FUN」の領域です。日米欧の先進国では、趣味商品としての付加価値の高いスポーツモデルが中心の市場となっており、商品の特性上、デザイン、走行性能などで「他とは違う」圧倒的な個性を求められるお客様が多くいらっしゃいます。そして、こういった先進諸国のスポーツバイクを愛用するお客様のなかには、時にはゆったりと、そして、ある時にはスポーツ走行も楽しみたいという嗜好の多様化が見られ、加えて、より高級で上級志向を要望する声も高まっています。

こういった声に応えるため、Hondaは、二輪が本来持つべき走る楽しさ、所有する喜びという原点に戻り、Hondaらしい独創的な先進技術や、感性に訴えるデザインなどお客様の欲求を満たす趣味性の高い商品の開発を進めていきたいと考えています。今回発表する、大型二輪車用のオートマチック技術である「デュアル クラッチ トランスミッション」は、こういったお客様のご要望にお応えする新技術と位置づけており、大型スポーツバイクの新しい世界を拓き、幅広いお客様に大型スポーツモデルの豪快さ、楽しさを味わっていただくための技術として新たなモーターサイクルの世界を創造するものと確信しています。

